



CONTENTS

- P.1～P.4 特集「My SDGs」
- P.5～P.6 学長よりメッセージ
- P.7 第8回連携研修会
- P.8 健康運動指導士
による家トレ紹介
- P.9～10 大学の今
- P.11～P.12 強化指定クラブ
活動報告
- P.13 大学院広報
- P.14 同窓会広報

特集

My 
SDGs

(自分自身の持続可能な開発目標)

作業療法学科 2005年3月卒業 **大木 いずみさん**

勤務先／ West Suffolk NHS Foundation Trust

2005 卒業、作業療法士免許取得
2005 4月～日本にて作業療法士として勤務
2017 海外青年協力隊(短期)参加 ジャマイカ
2019 Queen Margaret University MSC
Occupational Therapy 修了
2020 4月～現職

所属部門・部署／医療部門

職種・仕事内容／入院患者様への作業療法、退院支援

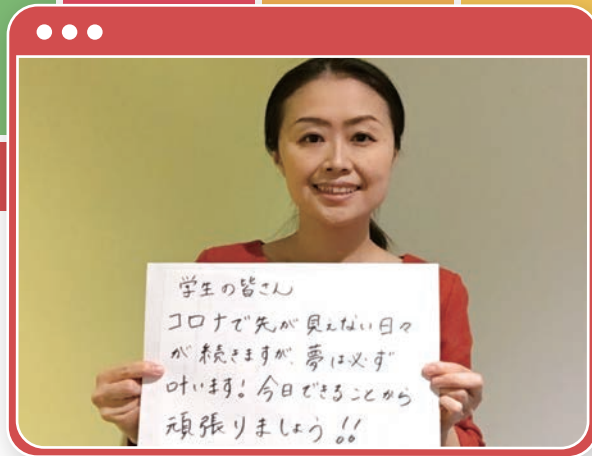
現在の仕事内容・活動内容(前職の仕事内容)について教えてください。

大学卒業後日本にて急性期病院、回復期病院、発達支援センターでの勤務を経て2017年に6ヶ月間海外青年協力隊に参加しました。そこで様々な人と出会い、刺激を受け、もっと作業療法について学びたいと思いQueen Margaret Universityに入学しました。イギリスやヨーロッパの医療や福祉に対する考え方の違いを知り、さらに経験を積んで日本で活かせることはないかと思い、イギリスで就職することに決めました。

現在はベリーセントエドマンズという街の中核病院で作業療法士として働いております。現在は医療部門というところで働いておりますが、6ヶ月ごとに他の様々なチームへ異動しながら経験を重ねていきます。日本で言うところの回復期病院や地域、精神科病棟などのチームへも今後派遣されていく予定です。仕事内容としては日本での作業療法に似ていますが、そもそもの医療保険制度の違いから作業療法士に求められることも少し異なる点があり、より効率的に患者様の自宅復帰を目指す上で作業療法士の役割や責任がかなり重要視されていると思います。

仕事におけるやりがいや苦勞していることを教えてください。

苦勞している点はやはり英語が一番大変で



す。しかし、チームの作業療法士、理学療法士、アシスタントのみなさんがとても優しくサポートしてくれているのでとても助かっております。また、看護師や医師など海外からの移民も多く、様々なサポートが受けられるのもとてもありがたく思っております。

患者様の作業を考える上で文化や生活習慣の違いが及ぼす影響の大きさを改めて感じ、勤務時間以外でもボランティアなど地域の方々と触れ合える時間を作れるよう努力しております。生活習慣の違い、人生観や価値観の違いを楽しみながら日々学んでいます。

やりがいを感じる時は患者様の退院支援をスムーズにできた時かなと思います。また、患者様とその家族、他の療法士や看護師、医師などと良好なコミュニケーションが取れた時はとても嬉しく感じます。

My SDGs(自分自身の持続可能な開発目標)を達成するために新しく始めたいこと(これからやりたいこと)を教えてください。

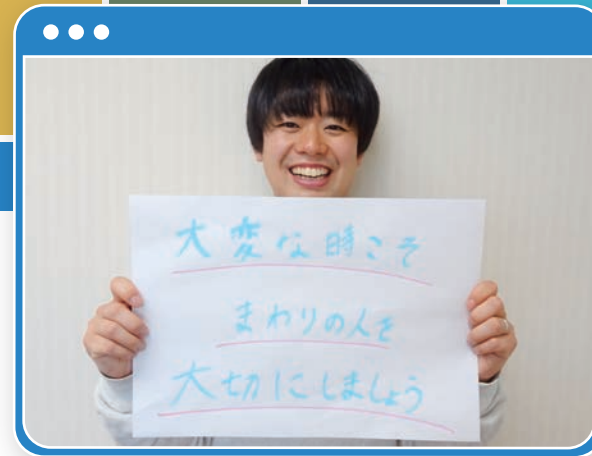
イギリスで学んだ良いところを日本に還元できるように、またその反対に日本での良いところをイギリスで少しでも生かせるようなことができると考えています。

まだまだイギリスでの経験は浅いですが、特に福祉用具への考え方の違い、日本でもっと多くの人に使用してもらえるようになるにはどうしたらいい

のかなどに興味を持っています。2022年にパリで行われる世界作業療法士学会にて発表ができるよう現在は具体的なテーマについて模索中です。



同僚との写真



社会福祉学科 2011年3月卒業 **伊藤 克哉さん**

勤務先／

社会福祉法人 新潟太陽福祉会 10年目

所属部門・部署／

共同生活援助 はまゆり

職種・仕事内容／支援員



現在の仕事内容・活動内容について教えてください。

現在、重度の知的障害を伴う自閉症の方が暮らしているグループホームで支援員として働いています。私が働いているグループホームは、他害や破壊行動、自傷行為などといった激しい行動障害が頻繁にみられる「強度行動障害」という状態にある利用者に向けて作られました。利用者に安心して落ち着いて暮らしてもらえるように1人ひとりの障害特性を理解し、個々に合わせた支援を組立てサポートしています。

仕事におけるやりがいや苦勞していることを教えてください。

利用者の行動障害に対するアプローチが上手くいった時にやりがいを感じます。利用者が行動障害を起こしてしまう時、そこには必ず原因が存在します。そのため支援を行う際はその原因が何なのかを明らかにする必要があります。言語が無い利用者も多く、日々の生活の中でなぜ今このような行動をとったのか等、些細な利用者の行動の変化にも気をつけなければなりません。行動前の環境や行動後の様子などから分析し原因を考え支援を組立てます。行動が悪化しないように早急な対応が求められることもありますが、行動障害に対する支援を組立て実行し、それが利用者にとっても合意、穏やかに生活されている時にとても嬉しく感じます。

My SDGs(自分自身の持続可能な開発目標)を達成するために新しく始めたいこと(これからやりたいこと)を教えてください。

現在、地域で暮らす障害者の中には強度行動障害に対しての困難なケースが増えており、緊急の場合は一時的に施設での受け入れが必要となってきます。しかし、実際の現場では対応できる職員はそれ程多くありません。今後の課題としては強度行動障害に対応できる支援者を増やす事だと考えています。私自身のスキルアップもそうですが、後輩職員に理解を深めてもらえるように事例検討会などを開き自らの経験等を伝えていきたいと考えています。



利用者さんとの交流

健康スポーツ学科 2019年3月卒業 **長谷川 直人** さん

勤務先／株式会社新潟アルビレックスランニングクラブ

所属部門・部署／競技部
職種・仕事内容／陸上選手

現在の仕事内容・活動内容について教えてください。

陸上競技の走高跳を専門種目として競技に取り組んでいます。

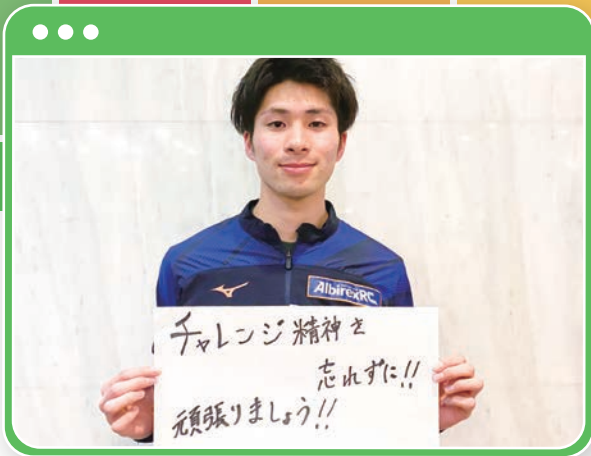
日中は新潟医療福祉大学の図書館・学習支援課で勤務をさせていただき、14時からは陸上選手として活動しています。

日本選手権優勝と2021年の東京オリンピック、2024年パリオリンピック出場を目指して練習しています。

新潟アルビレックスランニングクラブは地域密着型クラブなので、普段の練習や大会出場以外にも陸上教室やイベント等も行っています。地域の人と陸上を通じて関わり合い、スポーツ・陸上競技・走高跳の魅力を伝えるということも仕事です。

仕事におけるやりがいや苦勞していることを教えてください。

走高跳は技術種目とも言われています。ワールドクラスの選手でも、身長が2m近い選手もいれば、170センチほどの選手もいるなど体形は様々です。生まれ持った身体能力や体形よりも、身につけた技術で勝負する種目です。走高跳について調べて実践し反省してまた実践する。まるで研究者のように競技に取り組めます。圧倒的な身長差のある選手に試合で勝利した時などは言葉にしがたい高揚感がありますし、記録が数字として正確に出るので自己ベストを更新した際は技術の向上を感じることが出来ます。



それだけでなく、海外の試合や日本選手権などの大きい試合では観客と選手が一体となって競技を楽しんでいて、自分のジャンプで歓声が上がった瞬間はとても気持ちがいいです。

また地域の方々への指導では、子供からお年寄りまで幅広い層に指導を行います。年齢や種目に応じた指導を行うことは大変ではありますが、指導をした人が走高跳の魅力に気づいてくれた時や、記録が伸びて喜んでいる姿を見るとやってよかったなと思います。走高跳の魅力をどんどん伝え、試合会場に足を運んでもらえるように積極的に発信していきたいなと思っています。

My SDGs(自分自身の持続可能な開発目標)を達成するために新しく始めたいこと(これからやりたいこと)を教えてください。

オリンピック出場のためには自己ベストを2m25から2m33まで8cm伸ばす必要があります。

今まで通りの練習を積み重ねていくことも大切ですが、新しい知識や練習方法などを得るということもとても大切です。日本だけでなく世界中の論文や動画を通して知識を得るために、最低でも英語力は必要だと感じています。また海外の試合では、審判や選手とのコミュニケーションをとることは必須です。2024年パリオリンピックまでに英会話をスムーズに行える英語力を身につけたいと思っています。



現在の仕事内容・活動内容(前職の仕事内容)について教えてください。

私自身も学び、卒業した本学の健康栄養学科にて、助教として学内外実習の補助、事務業務などを担当しています。学内の実習では、使用する食材・備品等の準備や実習時間中の補助等を行っています。学外に行う臨地実習では、実習に行くにあたって必要となる事務手続きの他、オリエンテーションの準備等、ご担当の先生方と相談しながら進めています。その他、学科内の教育に関わる活動や地域貢献活動、学内の委員会業務、研究等、様々な活動に携わっています。教員として関わる立場になってみて、学生の時にはわからなかった先生方の細やかなサポート体制や多岐に渡る業務を知り、恵まれた環境で学生時代を過ごすことができたのだと改めて感じています。

私は、本学卒業後、管理栄養士免許を取得しましたが、まずは調理技術を磨く進路を選び、最初は調理師として大きなホテルでの勤務を経験しました。その中で、「日常の食事の大切さ」を改めて考える機会があり、管理栄養士という存在について再度見つめ直し、その後は管理栄養士として産婦人科クリニックに勤務しました。調理師としての経験も生かせる現場でしたが、管理栄養士免許の取得からプランクもあったので、最新の知識をインプットし続けることの必要性を痛感する毎日でした。「学び続けること」の大切さを実感する中で、教育の分野に大きな魅力を感じ、現在は縁あって母校にて勤務しています。

仕事におけるやりがいや苦勞していることを教えてください。

直接学生の皆さんと接することができ、私自身も教育、研究活動において常にたくさんのことを学びながら過ごすことができています。担当する実習や業務等によっては1年生から4年生まで、様々な学年の皆さんと関わることができ、学びと振り返りを繰り返す毎日です。

現在、2歳の娘の子育てをしながら勤務しています。実習等の事情により、やむを得ず帰りが遅くなることもありますが、周囲の先生方や家族の理解とサポートを受け、ありがたい環境で働くことができています。娘の離乳食開始と共に仕事に復帰したため、なかなか上手く食事を進められず、もどかしさを感じることもありました。平日は食事の時間にゆっくり向き合えないことも多く、母として、また管理栄養士として、力不足を感じることもあります。そういった「上手くいかない」苦しい気持ちも十分に咀嚼できることが、教育に携わる身として大切になるのではないかと感じています。

管理栄養士養成に関わりながら、家族の食事・健康管理もしっかり行えるのが理想ですが、そこは現在も四苦八苦しながら・・・周りの協力に心から感謝し、毎日を過ごしています！

健康栄養学科 2006年3月卒業 **寺尾 幸子** さん

勤務先／新潟医療福祉大学
2006 卒業、管理栄養士免許取得、調理師専門学校へ進学
2007～2010 関東のホテルで調理師として勤務
2010～2013 新潟市内の産婦人科クリニックで管理栄養士として勤務
2014～ 現職

所属部門・部署／健康栄養学科
職種・仕事内容／助教(学内実習の補助など)



My SDGs(自分自身の持続可能な開発目標)を達成するために新しく始めたいこと(これからやりたいこと)を教えてください。

コロナ禍の中、自身と家族、大切な方々が健康で過ごせることについて、これほどありがたいと感じ、また健康管理にこれほど注意を払って過ごした時間は今までなかったと思います。当たり前だったことが当たり前でなくなることを目の当たりにし、母として、教員として、一人の人間として、いろいろなことを考えた日々でした。

2020 年度は、大学でも多くの授業がオンラインにて実施され、私自身も試行錯誤しながら Web 環境を整え、新しい学びにあふれた時間となりました。今後は研究活動においても、対面での実施以外で進められる方法やオンラインならではの良さを利用した対応を検討し、限られた環境下でも新しい試みが続けながら取り組みたいです。



学長よりメッセージ



新潟医療福祉大学
学長
西澤 正豊

同窓会の皆様、コロナ禍の最中ですが、如何お過ごしでしょうか。

2020 年度はまさに、新型コロナウイルスに明け暮れた1年でした。大学では、前期は対面式授業が行えなくなったため、全ての授業をオンラインで行い、定期試験もオンラインで実施しました。後期に入って漸く実習・演習を再開できましたが、大学生活にとって非常に大切な課外活動も、特に前期は行うことができず、大学キャンパスで同窓生と在学生の皆さんが交流することも儘ならなかったでしょう。これまでに在校生4名がPCR 検査で陽性と判明していますが、幸い、学生寮等で学内クラスターが発生することはありませんでした。

この厄介な感染症は、新たな変異株ウイルスも出現して、まだまだ終息には程遠く、ワクチン接種の効果が出るまでは、感染の波がこれからも続くことでしょう。皆様は感染防御対策を怠らず、自らは感染しないように、また皆様のクライアントに感染させないように、慎重の上にも慎重に、本学が建学の精神として掲げる「優れた QOL サポーター」としての職務に邁進していただきたいと願っています。

昨年 6 月、学長として新たなマニフェストをお示しました。3つの大項目は教職員の自己実現を支援する大学、面倒見のよい大学、持続的に発展する大学を目指すことです。2番目の面倒見のよい大学を目指す具体的な内容として、①学生の皆さんの QOL を高めることを目標に学生教育に徹すること、②メンタルヘルスの支援体制を整備すること、③同窓会組織を支援し、卒業生と本学の双方向の交流を促進すること、の3つを掲げました。

本学は昨年度、卒業生が1万人を超えました。しかし、これまで卒業後の皆様と本学との結びつきは十分と言えるものではなかったと思います。そこで、昨年4月から同窓会との相互交流を担当する副学長を設け、丸田秋男先生に同窓会組織のインフラ整備から始めていただくようお願いしました。学生課内に同窓会の事務を担当する専任職員を採用するべく、同窓会の役員の皆様にご相談し、本学の卒業生である前山美優さん（健康スポーツ学科2018年卒）に担当していただくことになりました。

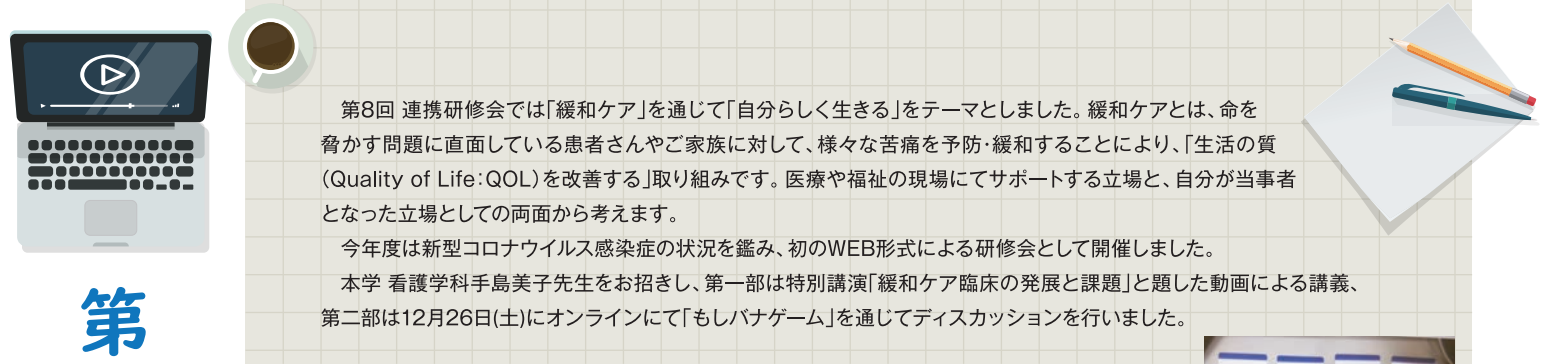
同窓会の皆様には、現状をお尋ねする郵便物を3月上旬にお送りしています。お返事に基づいて同窓会名簿を作成しますので、

可能な範囲で最新の情報をお知らせください。

本学は創立以来、20年を経過していますので、連絡先が不明の方も少なからずおいでになると思います。本学の卒業生、あるいは大学院を修了して、現在各学科で教員を務めていただいている皆様とともに、在学当時の、あるいは前後の学年の卒業生の連絡先を追跡する作業に、ぜひご協力をお願いいたします。

こうして同窓会の皆様の連絡網が整備できましたら、本学から連絡をさし上げます。皆様からも、ぜひ本学にご連絡ください。本学は、さまざまな共同研究のお誘いやイベントのご案内ができます。皆様の生涯学習をサポートできます。図書館の各種の機能を引き続きご利用いただけます。大学の教職員とさまざまな情報交換ができます。社会人として大学院に進学し、より専門性を高めることもできます。本学は、皆様が卒業された後も、皆様に対して面倒見のよい大学であり続け、同窓会の皆様との双方向の交流を充実させていきたいと願っています。

末尾に同窓会の皆様のご多幸とご活躍を祈念して、ご挨拶といたします。



第8回 連携研修会

第8回 連携研修会では「緩和ケア」を通じて「自分らしく生きる」をテーマとしました。緩和ケアとは、命を脅かす問題に直面している患者さんやご家族に対して、様々な苦痛を予防・緩和することにより、「生活の質（Quality of Life: QOL）を改善する」取り組みです。医療や福祉の現場にてサポートする立場と、自分が当事者となった立場としての両面から考えます。

今年度は新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み、初のWEB形式による研修会として開催しました。

本学 看護学科手島美子先生をお招きし、第一部は特別講演「緩和ケア臨床の発展と課題」と題した動画による講義、第二部は12月26日(土)にオンラインにて「もしバナゲーム」を通じてディスカッションを行いました。



～クライアントを尊重したコミュニケーションと意思決定支援～ 「自分らしく生きる」を考える

連携研修会とは

2013年より開催され、8回目の開催となります。新潟医療福祉大学での連携教育を踏襲し、専門職としての資質向上(スキルアップ)の実現を目的とした同窓会の中心を担う事業です。卒業教育・生涯教育を充実させるとともに、専門職として活躍している同窓生どうしの新たな連携方法を模索し、相互の親睦を深める機会を提供しています。



オンラインを活用した初めての試みでしたが、同窓会役員の協力のもと、企画・運営を行うことができました。

COVID-19感染を契機に亡くなられている方もおり、「死」や「恐怖」など感じる場面が増えたのではないのでしょうか。「死」は誰も避けられないものであり、その過程において症状緩和が必要となります。今回手島先生に緩和ケアをテーマに講演していただき、全人的ケアについて学びを深めることができました。

また、医療や福祉の現場をはじめ、様々な場面でコミュニケーションや意思決定支援が重要になります。今回は「もしバナゲーム」を通じて、自分らしい生き方を考える場を設けました。このテーマに興味を持って参加していただいた同窓生もあり、企画者の一人として大変嬉しく思います。自分や相手が何を大切にしているのかを考えるきっかけの場になりました。また何年かして行くと考え方も変化しているだろうと思います。



ファシリテーター 岡村聡之
首都圏支部副支部長
健康栄養学科 2005年卒

手島美子先生コメント

研修会とはとても楽しく私も有意義な時間を過ごしました。クライアントの意思決定を支援するためには、医療福祉の現場でクライアントに関わる同窓生の皆様が自分ならどう考えるかという趣旨で、それぞれの臨床経験に引き寄せて真摯に死生観を語られていたのが印象に残りました。



死 生観を考える機会がほとんどないので、とても勉強になり、今の自分の気持ちを確認する事が出来ました。今後10年、20年先では、自分の身体や環境が変化していると、また違った気持ちになっていると思います。その時々で今回の様なゲームを通じて自分の気持ちを整理する事が出来たら、いざという時に慌てず、穏やかに最後まで生きていけそうだなと思いました。

VOICE 参加者の声

死 生観を語ることは、今までの経験上あまりなく、自分でも大切に思っていることが何であるのかを再認識できて良かったです。

参 加者全員で「もしバナゲーム」をすることで様々な考え方を共有できてよかった。

緩 和ケアに関するテーマだったので、葛藤の連続でしたが、様々な分野で活躍されている同窓生と正解が無いことを議論するのがとても楽しかったです。

※「もしバナゲーム」とは：あなたと大切な誰かが「もしものための話し合い」をする、きっかけを作るためのゲームです。
ゲームを通じて、人生において大切な「価値観」や、自分自身の「あり方」について様々な気づきを得ることができます。（もしバナゲーム HP <https://www.i-acp.org/game.html>）

健康運動指導士による家トレ紹介！

～おうちトレーニングで運動不足を解消しよう！～

コロナ禍で、テレワークになったり、スポーツジムに行くのを自粛したり、外出や体を動かす機会が少なくなる中、家の中でトレーニングをする「家トレ」が今、注目を集めています。今回、本学の教員が自宅手軽に、楽しくトレーニングできる家トレ方法をご紹介します！



太もも、尻をきたえる スクワット 5～10回/セット



- ①肩幅よりやや広めに足を開いて立ち、足先はやや外側へ向ける
- ②地面と平行になるように手を前に伸ばす
- ③ヒザは足先と同じ方向になるようにややガニ股に
- ④お尻を後ろに突き出すイメージで、太ももの裏側が床と平行になるまで下げる
- ⑤ヒザを曲げる動作に合わせて息を吸い、伸ばす動作に合わせて息を吐く
- ⑥ヒザはつま先よりも前に出さないように注意する



腕、胸筋をきたえる プッシュアップ(腕立て伏せ) 5～10回/セット



- ①うつ伏せ状態から肩幅の1.5倍ぐらいで両手を広げて、ヒザを地面につける(強度を高くしたい人はつま先を地面につける)
- ②手先の方向はまっすぐ前方に向ける
- ③胸、腰、ヒザが一直線になるようにする
- ④息を吸いながらヒジを外側へたたむように曲げ、胸がつく位までヒジを曲げきる
- ⑤ゆっくり息を吐きながら上体を持ち上げる



腹をきたえる クランチ(上体起こし) 5～10回/セット



- ①仰向け姿勢で、胸の前で腕を組みヒザを折る
- ②息を吐きながらへそをのぞき込むように上体を起こす
- ③上体が起こせない場合は、肩甲骨が浮く程度で良い
- ④反動やはずみをつけず、一定のスピードで行う
- ⑤首が曲がりすぎたり、反りすぎたりしない



健康スポーツ学科

下門 洋文 講師

専門分野：スポーツバイオメカニクス、運動疫学
資格：中高専修免許(保健体育)、栄養士、
健康運動指導士、水泳コーチ

！ 全体の注意点

- 無理はしないで自分のペースで行ってください
- 少しキツイかなと感じる程度にしましょう
- 最初は1セットで、慣れてきたら3～5セットを行ってください
- どこかの筋肉に力が入っているのか意識しましょう
- 週に3日は頑張ってください
- 病気が痛みがある場合は医師に相談してください

引用：大学発行「QOLサポーター新潟」

NUHWの オンライン授業

NUHW's ONLINE LESSON

オンライン授業のメリットと工夫している点

オンライン授業のメリットは“授業に参加している学生さんへ提供する情報に偏りが無い”ということだと思います。通常の授業では、教室のサイズや学生さんが着席する位置などによって学生さんにとっては「ホワイトボードが見えにくい」「声が聞こえづらい」といったことがあると思います。また、パワーポイントスライドをスクリーンに映し出すと、特に写真は画質が悪くなることがあったり、資料の閲覧箇所が分かりづらくなることもありました。そういった点でオンライン授業では、教室で行うときに悩ましかった授業の質を確保できていると感じ、学生さんにとってより良い学びに繋がっていると思います。

ただし、学生さんのネット環境によっては通信が途切れてしまうこともあるので、できるだけ授業の様子を録画して、後からでも確

2020年度の授業は実際に大学に登校しての「対面授業」ではなく、自宅などでネットワークを通じて受ける「オンライン授業」が中心となりました。同窓生の皆様の中には、オンライン授業はどうやって受けるのだろう？必要なものってなんだろう？と思っている方もいらっしゃると思います。どのようにオンライン授業を受けているのかについてご紹介いたします！

認できるようにしております。また、直接対面できない環境下で学生さんが自ら交流を深めるのは難しいかと思うので、少人数制のゼミ（基礎ゼミ）の冒頭では毎回、全員参加型のゲームを行って学生間の仲を深められるように工夫しています。

また、基礎ゼミに限って言えば、毎回のアイスブレイクの内容を考えたり、その日のグループワークによっては学生同士の議論が進むように教員が入らないようにしたほうがよいか、ということをおきます。

活用ツール

大学に所属する学生さん全員がアカウントを持っているMicrosoft Teamsを用いています。大人数と対面したい場合はZoomを用いることもあります。



Case 1 視機能科学科 基礎ゼミ

この科目は1年次生を対象とした授業で、大学での生活や学習の仕方を学ぶとともに学科内の交流を深めていく内容となっています。また学生さんは学科教員が担当するゼミでグループワークを行い、その成果を発表します。

今年度は新型コロナウイルスの影響でオンラインでのゼミ活動となりましたが、当ゼミではその状況を逆手にとって、グループワークのテーマを「オンラインだからこそできる親睦の深め方」として活動しました。



生方 北斗 先生

オンライン授業のメリットと工夫している点

受け手である学生は、ポータルサイトやGメール、Teamsなどの使用により、文字による情報量が多くなっています。その膨大な情報をすべて把握しなければならない状況を考慮して授業を進めています。教員からの一方的な情報発信とならないように、Teamsを使用して同時双方向型の授業を中心に展開しています。少なくとも、学生の反応（例えば見えている、聞こえているなどの返答や質問）を直接受け取ることができ、その場で対応・返答することができます。アプリケーションのチャット機能も学生が質問や意見、感想を出しやすい理由の一つだとも考えられ、必要な事柄を伝えてくれる学生も多いです。昨年度と同じコースの学生に行っている授業においては、大勢で授業をしていない環境であるためか、授業内に質問や感想を伝えてくれる学生が出てきています。また重要な内容については、繰り返し教員からの言葉で伝えることができ、理解度や習熟度が確保されるのではないかと考えています。

活用ツール

15回の授業で12回はTeamsを使用した同時双方向型の授業です。ほか3回はオンデマンド授業をしています。オンデマンド授業では、学生に課題を提示し作成後に提出してもらっており、学生の使い



やすさやPC操作の習熟度に合わせて、Teams、ポータルサイト、Gメールを使い分けています。

オンライン授業の流れ

授業用スライド（パワーポイント）を使用し、教室にいる場合と同様、口頭で学生に質問するなどしています。本科目は演習も必要であるため、授業内で簡単な課題を提示しその場（Teams内）で答えてもらっています。学生の返信内容を活用し、学生へのコメントを行いながら授業を進行しています。オンデマンド型授業は、初回授業時に3回分の授業日（課題提示日）を伝え、同時双方向型授業の際にもインフォメーションし実施しています。

Case 2 社会福祉学科 基本介護Ⅲ

この科目では、介護を必要とする人の生活の質（QOL）およびノーマライゼーションの考えに基づき、利用者主体の自立支援に向けた介護について学びます。また介護を必要とする人の個性や生活の多様性と社会のかかわりを理解することで、介護福祉専門職としての多面的視点や考え方を習得します。さらに個性の高い生活ニーズ・介護ニーズに対して適切かつ最良な介護支援を見出していく能力を養うことができます。



佐久間 由紀 先生

NUHW's ONLINE LESSON



引用：大学発行「QOLサポーター新潟」

強化指定クラブ活動報告



水泳部

インカレ女子200m平泳ぎで深澤舞が昨年に引き続き優勝し2連覇を達成！また、男子100mバタフライでは田中優弥が初優勝を飾りました。日本選手権では女子50mバタフライで津田萌咲が優勝し学生新記録を樹立しました！

【2020年度 主な大会結果】

10月 第96回日本学生選手権水泳競技大会

田中優弥 男子100mバタフライ 優勝／

男子50m自由形 2位

深澤 舞 女子200m平泳ぎ 優勝／

女子100m平泳ぎ 2位

10月 第62回日本選手権水泳競技大会

津田萌咲 女子50mバタフライ 優勝(学生新記録)／
100mバタフライ 3位

田中優弥 男子50mバタフライ 2位

(予選で日本新記録・学生新記録樹立)／

100mバタフライ 3位

12月 第96回日本選手権水泳大会

深澤 舞 女子200m平泳ぎ 3位



陸上競技部

U20全国陸上競技大会では男子円盤投げの中町真澄が昨年の覇者を破り優勝を飾りました。

また、全日本インカレでは男子走高跳の堀井遥樹、澁谷蒼が第3位、女子走高跳の蓑輪夢末も3位となり、表彰台に上がりました。女子長距離では全日本大学女子駅伝に9年連続の出場を果たしました！

【2020年度 主な大会結果】

9月 第89回日本学生陸上競技対校選手権大会

堀井遥樹 男子走高跳 3位

澁谷 蒼 男子走高跳 3位

蓑輪夢末 女子走高跳 3位

10月 U20全国陸上競技大会2020

中町真澄 男子円盤投げ 優勝

木村玲奈 女子やり投げ 3位

10月 第38回全日本大学女子駅伝対校選手権大会

24位



男子サッカー部

松本雄真が2022年J3カターレ富山に新規加入内定が決まり、現在カターレ富山強化指定選手として活躍中です。また、創部初のJ1選手のンダウ ターラ(横浜F・マリノス／J1)をはじめ、佐々木 快(ヴァンラーレ八戸／J3)常盤 悠(アルビレックス新潟シンガポール)が入団決定し、昨年度に続きプロサッカー選手が誕生いたしました！天皇杯全日本サッカー選手権大会県予選では5年連続5回目の優勝を飾り、本大会では3回戦進出を果たしました。

【2020年度 主な大会結果】

8月 新潟日報杯・共同通信杯／第25回新潟県サッカー選手権大会

天皇杯JFA第100回全日本サッカー選手権大会新潟県代表決定戦

優勝(5年連続5回目)

10月 天皇杯JFA 第100回全日本サッカー選手権大会

3回戦進出



女子サッカー部

9年連続9回目のインカレ出場を成し遂げ、4年ぶりとなるベスト8入りを果たしました。また、新リーグとなる「なでしこリーグ2部ノルディア北海道」に本間詩帆の入団が決定いたしました。

【2020年度 主な大会結果】

9月 皇后杯JFA第42回全日本女子サッカー選手権大会北信越大会
準優勝

10月 第29回全日本大学女子サッカー選手権大会北信越大会

優勝

12月 第29回全日本大学女子サッカー選手権大会

ベスト8



男子バスケットボール部

今年はインカレ出場を目標に、全員が個人のスキルアップとチーム力アップに取り組んできましたが、あと一歩というところでインカレ出場とならず昨年に引き続き悔しいシーズンとなりました。

【2020年度 主な大会結果】

10月 第54回北信越学生

バスケットボール

選手権大会

兼インカレ北信越予選

北信越ブロック3位



女子バスケットボール部

今年度も全日本大学バスケットボール選手権大会(インカレ)の出場を決め、2年連続12回目のインカレ出場を果たしました。多くの事を学ぶことができた大会となりました。

【2020年度 主な大会結果】

10月 第54回北信越学生

バスケットボール

選手権大会

兼インカレ北信越予選

準優勝 2年連続8回目

12月 第72回全日本大学

バスケットボール選手権

大会 ベスト32



ダンス部

今年は新型コロナウイルス感染拡大の影響で様々なコンクールが中止となりました。その中で開催された数少ないコンクールの1つ「秋田モダンダンスコンクール」に【群舞部門】および【シニア(ソロ)部門】へ参加しました。

残念ながら受賞することができず悔しい結果となりましたが、部員全体で秋田コンクールへ向けた作品創作に取り組み、立ち向かう経験をすることができました。

【2020年度 主な大会結果】

12月 あきた全国舞踊祭・秋田モダンダンスコンクール

群舞部門、ソロ部門へ出場。



硬式野球部

関甲新学生野球連盟秋季1部リーグのチャンピオンラウンドに進出し、秋季リーグ戦の過去最高に並ぶ4位という結果で終えました。続く新人戦、昨年度から始まったAutumnCupは初戦で敗退となりましたが、新型コロナウイルス影響下での苦難を乗り越えた一年でした。

【2020年度 主な大会結果】

9月 関甲新学生野球連盟秋季1部リーグ戦

ファーストラウンド

勝率によりチャンピオンシップラウンド進出

10月 関甲新学生野球連盟秋季1部リーグ戦

チャンピオンシップラウンド 4位



女子バレーボール部

秋季北信越大学バレーボール選手権大会でBコート優勝し、7年連続となる全日本インカレの出場を果たしました。また、鈴木沙彩がV2プレス浜松への入団が決定し、3年連続のVリーグ輩出！

【2020年度 主な大会結果】

11月 令和2年度全日本バレーボール大学女子選手権

大会北信越選抜推薦チーム決定トーナメント戦

Bコート優勝(7年連続7回目)

12月 第67回秩父宮妃賜杯全日本バレーボール大学

女子選手権大会 ベスト32



新設強化指定クラブ情報

2021年4月より、「男子バレーボール部」「テニス部(男子・女子)」が強化指定クラブとして新設いたします！！
新しいクラブも応援よろしく願いたします！



■大学院と仕事の両立

働く日々に、ちょっとした成長を。

私は現在、健康栄養学分野の臨床栄養専門コースに在籍しています。本学の大学院に進学したキッカケは、実践で経験した分からないことや疑問を持ったことを論理的に考え、患者さんにフィードバックできる能力を養いたいと感じたことでした。私が勤務する病院では、腎臓の働きが低下して透析が必要になった患者さんや高齢で慢性的な疾患を複数罹患されている患者さんが入院されています。そのため、さまざまな疾患を深く理解することはもちろん、どの栄養管理がその患者さんに最適かを考えていく必要があります。管理栄養士としての経験年数が少ないこともありますが、「もっと多くを学び、成長したい」と強く感じ

じたことが大学院に進学を決めた理由です。

私の研究課題は、当院の通所リハビリテーションに利用者の栄養状態とそれに関連している要因を調査することです。今後高齢の方が増えていくに当たり、在宅での管理栄養士の関わりが大切になってくると考えています。それを踏まえ、管理栄養士は当院の通所リハビリテーションに通われている利用者さんへ今まで以上に関わっていく必要があると感じました。このような理由から、管理栄養士に関わる足がかりとして研究を重ねつつ、その結果を当院にいられている方に役立てていきたいと考えているに至りました。

医療法人 新光会 村上記念病院
栄養科
管理栄養士

片野 佑美 さん

(健康栄養学科 2017年卒)



働きながら大学院に通うことは想像以上に大変でした。両立するために限られた時間をいかに有効に使うか、時間の大切さを痛感しました。しかし職場の方の理解もあり、研究を続けることができています。恵まれた環境下で研究できることは大変有り難く、これからも患者さんの役に立てる管理栄養士となれるよう日々研鑽していきたいと思います。



次代の保健・医療・福祉・スポーツ分野を担う、教育者・研究者・高度実践専門職業人を目指す。

新潟医療福祉大学医療福祉学研究科

本学大学院は、対面とオンラインによるハイブリッド型教育を実践しております。社会人の方も学びやすい昼夜開講制に加え、長期履修生制度、各種奨学金制度など、様々な面で皆さんの「学びたい」をサポートしています。

また、国家資格を有している方が、さらに専門的で高度な技術や知識の習得を目指す、または各種職能団体等による専門職資格の習得を目指す、かつ修士の学位取得もできる「高度専門職業人プログラム」を提供しています。キャリアアップを目指している方、少しでも興味をお持ちの方はお気軽にお問い合わせください。

医療福祉学専攻

(博士後期課程)

健康科学専攻

- ☐健康栄養学分野
- ☐健康スポーツ学分野
- ☐看護学分野

社会福祉学専攻

- ☐保健医療福祉政策・計画・運営分野
- ☐保健医療福祉マネジメント学分野

保健学専攻

- ☐理学療法学分野
- ☐作業療法学分野
- ☐言語聴覚学分野
- ☐義肢装具自立支援学分野
- ☐医療技術安全管理学分野
- ☐視覚科学分野
- ☐救急救命学分野

医療情報・経営管理学専攻

- ☐医療情報・経営管理学分野

【高度専門職業人プログラム】

- 看護学分野 高度実践看護師(がん看護専門看護師)コース
- 理学療法学分野 臨床徒手理学療法コース
- 理学療法学分野 急性期理学療法コース
- 健康栄養学分野 臨床栄養専門コース
- 社会福祉学専攻 認定社会福祉士単位取得コース

注目 修士課程学費減免特待生制度

優秀で経済的に修学が困難な方を対象とした制度です。採用された場合、2年間合計で最大110万円の学費が減免されます。(分野や年次により減免額は異なります) 詳細は大学院HPをご覧ください <https://www.nuhw.ac.jp/grad/>

資料請求やお問い合わせは本学大学院入試事務室まで TEL : 025-257-4500 FAX : 025-257-4505 E-mail : grnyuusi@nuhw.ac.jp



NUHW同窓会はこんな活動をしています。



連携研修会

母校での連携教育を踏襲し、同窓生の「卒後教育・生涯教育の充実」と「同窓生同士の交流・親睦」を目的に毎年開催しています♪



同窓会誌

毎年春(3月)、秋(9月)に発行しています。同窓生や母校の近況をお届けしています!!



役員会

年に数回、全国各地から役員が集まり、同窓会事業について協議しています。



在学生支援・応援



各クラブの大会応援や連携総合ゼミでのサポートなど、後輩たちをバックアップしています♪



ホームページ

同窓生や大学の近況、同窓会イベントの案内など、様々な情報発信をしています!!



ホームカミングデー

同窓生が母校に集まることを目的にした会です。毎回、著名なゲストを呼んだり、同窓生の実践発表を行ったりします!!



国家試験合格や卒業後の活躍を願い、同窓会から全4年生に想いを込めた様々なグッズを寄贈しています♪



合格祈願・大願成就グッズ



園児募集中 大学構内に「こども園」を開設!

「新潟医療福祉大学附属インターナショナルこども園」を構内に開設しました。地域にお住まいのお子様も対象となりますので、入園に関心のある方はお気軽に本園(☎025-257-4004)までお問合せください。



対象同窓生へ
3月上旬に
発送しました



お手元に
届いていましたら…

卒業生登録データの確認にご協力をお願いします！

4月以降、引っ越しや転勤等、登録情報の変更がありましたら、新しい情報をご登録ください。



住所や氏名に変更がある場合は、
会員情報の変更をお願いします！

同窓会誌やメールマガジンをお送りいたします♪

同窓会HP：会員情報・住所変更届出より入力ください。

※同窓会誌送付希望の有無も選択できます。



Editor's Note

編集後記

今年度、本学同窓会も多くの活動・イベントを中止いたしました。そんな中、初めての試みとしてオンラインを活用し、総会、連携研修会、役員会を開催することで、遠隔でも同窓生同士が繋がれることを実感いたしました。特集ページではMy SDGsと題し、同窓生の持続可能な開発目標についてお伺いいたしました。先の見えない状況ではありますが、一人一人が持続可能な目標を持ち、この難局を乗り越えていきましょう。

お問い合わせ先

新潟医療福祉大学同窓会 新潟県新潟市北区島見町1398番地 新潟医療福祉大学事務局内 同窓会支援室 Tel 025-257-4500 Mail dosokai@nuhw.ac.jp

Publisher：新潟医療福祉大学同窓会 Plan & Edit：新潟医療福祉大学同窓会支援室 Design：株式会社タカヨシ